

# 第 21 回福井県血液浄化談話会 プログラム

日時：令和 7 年 3 月 16 日（日）

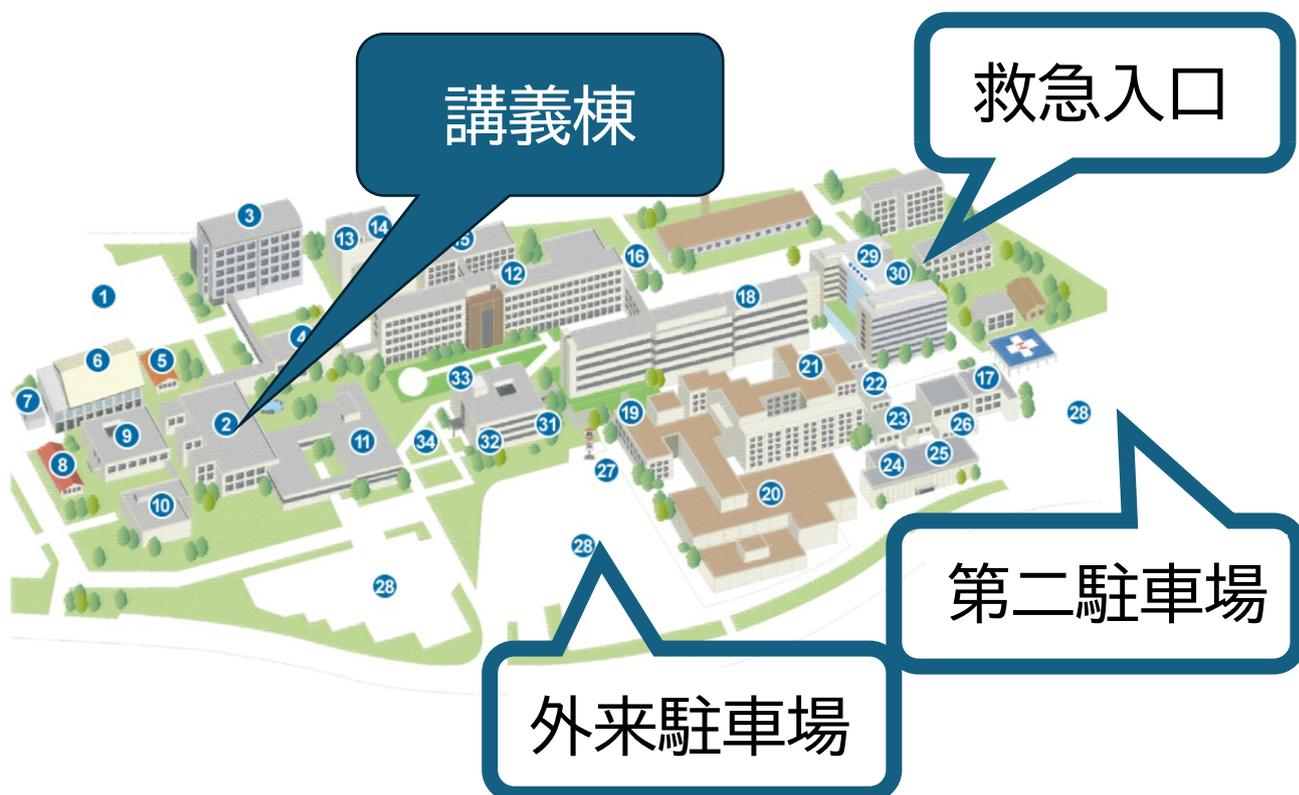
12:00-12:45 一般受付

12:00-12:30 USB データー受付

13:00 より開会

場所：福井大学医学部講義棟 1 階合併講義室

TEL (0776) 61-3111



当番世話人 はるそら内科クリニック 大鐘 邦裕

プログラムのダウンロード



## 【お知らせ】

1. 参加者一人当たり 1,000 円を受付にてお支払い下さい。
2. 一般受付 12:00-12:45、USB 発表データー受付 12:00-12:30 です。
3. 発表時間は口演7分、討論3分を予定しています。発表者は時間を厳守して下さい。
4. 外来駐車場の駐車料金については受付にて免除券・減額券を発行します。駐車場につきましては数に限りがございますので、当日はなるべく乗り合わせの上お越し下さい。
5. 本会に参加されますと日本透析医学会地方学術集会参加(5 単位)、及び慢性腎臓病療養指導看護師(CKDLN)の 3 ポイントが取得できます。
6. セッション 5 の導入期加算研修のみ WEB 視聴が可能です。導入期加算研修に参加されますと導入期加算3算定施設が実施する腎代替療法に関わる研修(施設認定)の参加および、腎代替療法専門指導士更新のための参加証が取得できます。
7. 2024 年度より企業からの広告費支援が困難になったため、各施設から施設年会費1万円を徴収させていただきます。別途、請求書を郵送しますので血液浄化談話会の口座にお振り込み下さい。

13:00~13:15

当番世話人 開会挨拶 はるそら内科クリニック (大鐘邦裕)  
代表世話人 挨拶 あすわクリニック (木藤知佳志)  
会計報告 福井大学 (糟野健司)

**13:15~13:55 【セッション1】**

座長 はるそら内科クリニック (大鐘邦裕)

01. 下剤内服中の血液透析患者へのテナパノル投与の検討

藤田記念病院 内科

○宮崎良一 宮城恭子 宮永達人

【目的】今回下剤内服中の血液透析患者へのテナパノル投与の認容性と効果を検討した。テナパノルの初期投与量は5mgx4/週から10mgx7/週とした。【対象と方法】対象は15例であったが投与後すぐ便秘で1例脱落したため14例で解析した。血清Pは、透析前に月4回測定し、Lopesらに準じ、AUCで検討した。【結果】投与後3か月まで脱落例は、2か月目に心筋梗塞で1例脱落した。下痢での脱落例はなかった。下剤は14例中9例で減量もしくは中止が可能であった。血清PのAUCの)は、投与前 $4.1 \pm 2.8$ mg/dL、投与3か月後は $2.7 \pm 2.6$ と統計学的有意差はなかったが、低下傾向を示した。

02. 当院における2型糖尿病維持透析患者へのTirzepatideの使用経験

福井総合クリニック 内科

○森川幸恵 山本智恵

福井医療大学 供田文宏

【背景】糖尿病合併維持透析患者に栄養指導を行うも、生活様式を変更できず、体重管理や治療に苦慮する症例が散見される。食欲抑制効果がこれまでより高いGIP/GLP-1作動薬Tirzepatideの使用経験を得たため報告する。

【対象と方法】

当院の2型糖尿病維持透析患者3名に対し、Tirzepatideを投与し、投与前後の、DW、GA、食塩摂取量、nPCR、Pについて検討した。

03. 高齢血液透析患者の2例からアドバンス・ケア・プランニング(ACP)のあり方を考える

福井赤十字病院 1) 腎臓内科 2) リウマチ・膠原病内科

○鈴木康倫 1), 2)、山岸瑞希 1)、松井佑樹 1)

いわゆるサプライズクエスチョン(この患者が1年後に亡くなったら驚くだろうか?)にyesで、家族から心肺停止時DNARの希望を確認していた90歳代の血液透析患者2例を提示する。1例は透析後半の血圧低下に伴う一過性意識消失を来し、スタッフがごく短時間胸骨圧迫したところ後日家族から批判を受けた。もう1例は肺炎で入院した後に転院待ち、特に誘因なく心肺停止となり家族とともに静かに看取った。ACPのあり方をフロアの皆様とともに考えたい。

04. 当院血液透析患者のアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の検討2

藤田記念病院透析センター

○中野智美 加藤紀美江 白崎真由美 酒井祐美子 島田由子 村中あい子 宮城恭子 宮崎良一

【目的】当院透析患者のACP面談の現状を報告し私たち透析看護師が患者とのACP面談を通して終末期医療の意志決定過程における役割と支援について、より多数例で検討した。

【対象・方法】2024年4月から11月全透析患者184例男性131例女性53例 平均年齢 $65.4 \pm 16.1$ 歳に対しACP面談の希望者に対し、医師との面談を透析治療前15分間でACP実践のための質問から開始し、終末期医療の説明と治療内容の希望の有無を尋ねた。看護師は、医師の質問後の患者サポートを行った。

**13:55～14:25 【セッション2】**

座長 はるそら内科クリニック（鈴木量）

05. 除水ポンプ回転速度異常への対応

細川泌尿器科医院

○山崎泰史 細川高志

細川内科クリニック 岡田映子

当院で使用している東レの透析用監視装置 TR3300M 11 台中 5 台で、除水ポンプ回転速度異常の警報が約 1 年間に 16 回あった。その対応として、カルシウム除去剤の濃度変更や中性から酸性への変更、部品交換等、いろいろな対応を試みたが効果がなかった。

試行錯誤した内容と考えられる異常発生の原因について報告する。

06. 当院血液浄化療法部における災害対策マニュアル見直しの取り組み

福井大学医学部附属病院 ME 機器管理部

○川道楓 梅田広樹 山田太郎 橋脇和史

同看護部 下木崎凧咲 長谷川章子

同腎臓内科 西川雄大 糟野健司 遠山直志

昨年発生した能登半島地震において、当院血液浄化療法部は福井県透析施設ネットワークの事務局として対応にあたった。その際、対応に苦慮する場面も多く、事務局の役割を見直すためのWGを立ち上げた。見直しを進める中で、当院の災害対策マニュアルでは発災直後にしか対応できていないことが判明し、災害対策マニュアルの見直しを開始した。今回、見直しを進める中で、いくつかの課題がみえてきたので報告する。

07. 当院のS.T.S導入とその有用性 ～スタッフの意識向上と情報の共有を試みて～

医療法人 青々会 細川泌尿器科医院 透析室

○赤星健太 福田洋人 柴田菜穂美 上田礼子 岡田映子 細川高志

VA 長期開存のためには異常の早期発見が必要であり、狭窄や閉塞リスクを可視化し、情報を共有し早めの対応を行う重要性は高いと考える。

今回、我々は独自のS.T.S(シャントトラブル・スコアリング)シートを導入し、透析室スタッフのシャント観察力やVA管理の意識向上と情報の共有を試みた。更にS.T.Sシート導入前と半年後にアンケートを実施し評価・考察を行ったので報告する。

14:25～14:45 【コーヒーブレイク】



**14:45~15:15 【セッション3】**

座長 福井大学医学部附属病院（西川雄大）

08. 維持血液透析患者における NT-proBNP の意義

藤田記念病院

○氣谷彩音 高野美沙希 澤本恵美 前田真喜江 北川玲子 宮城恭子 宮崎良一

【目的】院内で血液透析患者の NT-proBNP 測定の意義について検討した。【対象】当院の維持血液透析患者 125 例を対象とした。【方法】NT-proBNP は ECLIA 法を用いて院内で測定し、BNP は CLIA 法を用いて外部委託で測定した。両検査とも血液透析後の検体を用いて行った。【検討内容】NT-proBNP の同一検体測定での CV 値、日差変動、血漿分離し 4℃ の冷蔵での保存性、BNP と NT-proBNP の相関、サクビトリルバルサルタンが BNP に与える影響など報告する。

09. 高齢透析者の問題点の洗い出し

あすわクリニック

○木藤知佳志 山川美幸 宮永真由美 小林昌弘 島田三江子 佐々木恵子 仲倉知敬 黒川美希

まず、過去 5 年間に紹介を受けた、透析者のプロフィールを纏めた。次に、当院全体の透析者の中で、80 歳—89 歳、90 歳以上の高齢透析者を対象に、その方々の問題点について洗い出した。問題点としては、生活の場、認知症、キーパーソン、カテーテルトラブル、訪問看護師の介入などが挙げられる。

10. 透析患者の高齢化に伴う我々の取り組み

鈴木クリニック

○高原千佳子 下川知江子 横田久美子 藤堂正子 鈴木亨

つくし野ケアサービスセンター 佐々木美紀

ホットマネージメント福井 萩原麻喜

透析患者の高齢化に伴い介護を要する患者が増えている。当院でも約 4 割の患者が様々なサービスを利用しているが、高齢透析患者は全てにおいて管理が必要となるため家族や介護スタッフの役割は大きい。そこで当院では積極的に自宅での担当者会議に参加することで、チームとして患者、家族に寄り添った看護をめざしている。

**15:15～15:55 【セッション4】**

座長 はるそら内科クリニック（武曾伴栄）

11. 透析中を安楽に過ごすための取り組み ～計画的なトイレ離脱～

はるそら内科クリニック

○酒井祥太 富田範恵 武曾伴栄 大鐘邦裕

透析後、トイレに急ぐ姿が毎回のようによくみられる患者に対し、時間を決めて一旦透析を中断し、排泄を促す取り組み（以下、計画離脱とする）を実施している。当院の通院患者の69%は透析歴1年未満の方であり、自尿のある患者も多い。そこで、透析中の排泄に対する思いやトイレ離脱に関するアンケートを実施した。結果、透析中の排泄について気にかけている患者は多かった。計画離脱の実施により、患者の安楽に繋がると考えた。

12. 未婚男性の心の悩み・経済的悩みが透析に及ぼす影響 ～家族との関わり・新たな福祉利用～

鈴木クリニック

○藤澤日登美 藤堂正子 横田久美子 森麻美 前田さつき 鈴木亨

障害相談支援事業所ほくせい 黒田遼

坂井地区：遠藤あき

透析患者の高齢化が進む中、当院では未婚男性、特に中高年の男性が少なくない。家族や仕事での関わりで今後の生活に不安を感じ心を病んだり、経済的な問題で透析生活に支障をきたした患者に対して心のケア・新たな福祉利用を試みたので一部であるが経過を報告する。

13. 失明を理由に透析中止を決断した患者との関わりを振り返って

はやしクリニック

○野口理恵 加戸陽子 木下優子 小竹康予 山岸瑞希 林憲史 林正則

透析医療が終末期医療の様相を呈する昨今、2020年には人生の最終段階ではない維持透析患者からの透析見合わせの申し出を想定とした提言もなされた。

そんな中、私の学生時代の恩師であるA氏が維持透析のため転院してきた。A氏は転院から約1年後、失明を理由に透析中止を決断し、その23日後に永眠された。透析中止から永眠までの間に、当クリニックがA氏と家族に対して行ったケアについて振り返ったことを報告する。

14. 透析看護における教育進行状況の可視化と共有が新任スタッフに与える影響

福井県立病院 血液浄化療法室

○石橋知恵

他部署から血液浄化療法室へ異動で、初めて透析に関わることになった時の不安と緊張は大きい。今回、新任スタッフの技術習得進捗状況を他のスタッフと共有するという方針に修正した。その結果、新任スタッフに与える影響を明らかにすることができた。これにより新任スタッフの不安と緊張が和らぎ、スタッフ全員で新任スタッフを育てるという姿勢がとれたと考える。

**16:00～17:40 【セッション5 導入期加算研修】**

詳細は次項の案内状を参照ください。

15. 腹膜透析患者の退院後訪問の学び

福井大学医学部附属病院腎センター ○笠原文葉（かさらはふみは）、藤井友美、嶋田恭子  
福井大学医学部附属病院腎臓内科 糟野健司 遠山直志

16. 在宅血液透析 14年間で振り返って～技士の視点から～

はやしくリニック

○壇 和宏（だん かずひろ） 八木英昭 柳原光雄 宮川真菜美 木下優子 山岸友紀  
内村真理 野口理恵 林 正則

17. 施設血液透析患者の終末期を含めた透析医療に対する意思表示～在宅腹膜透析を勧める～

施設名：はやしくリニック

○林 正則（はやしまさのり） 林 憲史 木下優子 坂本枝美 山口よりこ 松村雅子  
西出絵美 伊藤 茜 高橋悠莉子 品川泰代 見延美由紀 野口理恵

18. 高齢者への透析療法と地域連携について

演者：京都桂病院 宮田仁美

閉会の挨拶 杉田玄白記念公立小浜病院 （吉田治義）

Vantive

# 福井県血液浄化談話会

～導入期加算3算定施設による双方向研修～

## 日時

2025年3月16日(日) 16:00～17:40

お申込はこちら

## 会場

福井大学医学部 講義棟 合併講義室

★Teams配信によるハイブリッド開催



## プログラム

総合司会

福井大学 糟野 健司 先生

開会の挨拶 あすわクリニック 木藤 知佳志 先生 (16:00～16:05)

第1部 (16:05～16:35)

「腹膜透析患者の退院後訪問の学び」

演者：福井大学医学部附属病院 笠原 文葉 先生

質疑応答、双方向ディスカッション

在宅血液透析14年間を振り返って～技士の視点から～

演者：はやしくりニック 壇 和宏 先生

質疑応答、双方向ディスカッション

「施設血液透析患者の終末期を含めた透析医療に対する意思表示～在宅腹膜透析を勧める～」

演者：はやしくりニック 林 正則 先生

質疑応答、双方向ディスカッション

第2部 (16:35～17:35)

「高齢者への透析療法と地域連携について」

演者：京都桂病院 宮田 仁美 先生

質疑応答、双方向ディスカッション

閉会の挨拶 杉田玄白記念公立小浜病院 吉田 治義先生 (17:35～17:40)

主催：福井大学医学部附属病院 / 株式会社ヴァンティブ

後援：日本腎代替療法医療専門職推進協会

お問い合わせ：shota.takehara@vantive.com



## \* 参加登録および各種ご案内

### ■参加証発行に関する注意事項

- ①セミナーの90分～全時間のご視聴をお願いします。
  - ②出席状況確認のため、セミナー終了後のアンケートへご解答下さい。
- 上記、①、②の条件を満たされた参加者へ後日参加証を発行いたしますとともに当日の質疑応答等の議事録を配布いたします。

### ■事前参加登録のご依頼

事前に参加登録をお願いいたします。

### ■登録URL

<https://x.gd/QecNr>

### ■オンライン視聴について

弊社からメールにて視聴用URLを送付いたします。

- ①「イベントに参加する」から視聴ページへアクセスください。
  - ②入室時に「ご所属の施設名+ご指名」を入力し、入室ください。
- \* 参加証の発行を行いますので、必ず入力の程よろしくをお願いいたします。  
\* 参加者名簿を日本腎代替療法医療専門職推進協会に提出することを了解ください。

### ■始めてMicrosoft Teamsをご利用になれる場合

下記に①、②のいずれかからご参加ください。

- ①Windowsアプリをダウンロードする
  - ②Microsoft EdgeでTeamsを利用する
- ★②Microsoft EdgeでTeamsを利用するを選択いただくと、ダウンロードやインストールの必要なくご参加いただけます。

お問合せ窓口：株式会社ヴァンティブ 関西2営業部 武原 祥大

携帯：080-4447-0735

メールアドレス：[shota.takehara@vantive.com](mailto:shota.takehara@vantive.com)